



お母さんの
命を守る
キャンペーン

2009年6月24日（水）発行
国連人口基金東京事務所
キャンペーンリリース No. 3

世界人口デー記念特別展示 「アフガニスタンのお母さん」

国連人口基金（UNFPA）東京事務所は、2009年6月22日から2010年7月11日の「世界人口デー」までの約1年間、「お母さんの命を守るキャンペーン」を日本国内で実施します。

世界のお母さんが置かれている現状について1人でも多くの人に知って頂くために、キャンペーンの一環として、ジョイセフ、東京 FM、インデペンデント・プレスと共催で、世界人口デー記念特別展示「アフガニスタンのお母さん」を以下の通り実施します。

日時：2009年6月29日（月）～7月17日（金）（週末を除く） 10:00～17:30

場所：国連大学ビル 1階、2階 UNU ギャラリー

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70

共催：国連人口基金東京事務所、ジョイセフ、東京 FM、インデペンデント・プレス

展示概要：

- 1階 — 国連人口基金とパートナーNGOの活動紹介
 - 国連人口基金とパートナーNGO（ジョイセフ、APDA、AUICK）の活動を紹介したパネル
 - 国連人口基金が、途上国の妊産婦の出産を支援するために配布している「衛生出産キット」、また2004年末に起きたインド洋大津波の被災地で配布した「基礎衛生キット」
- 2階 — 「アフガニスタンのお母さん」の絵画展示
 - アフガニスタンの子どもたちが、日本から送られたクレヨンや色鉛筆で描いたお母さんや家族の絵。子どもたちの描いた絵が、お花畑に咲く大輪の花のように展示されています。
 - 子どもたちが絵を描いている様子を撮った写真
 - 日本からアフガニスタンへ送られたクレヨン、色鉛筆、自転車やランドセル
 - 「お母さんの命を守るキャンペーン」サポーターでもある松永真氏（グラフィックデザイナー）が、アフガニスタンの子どもの絵をもとに、特別にデザインしてくださったポスター

この展示に関連して、7月4日（土）に特別イベント「アフガニスタン・レインボープロジェクト Rainbow Project for Afghanistan ～Speaking about Mums and Kids」を実施します。廃油を利用してろうそくを作るワークショップ、ろうそくを灯しながらのライブやトークショーを行います。（詳細は次ページを参照）

また、本展示御鑑賞のため、秋篠宮妃殿下が、6月29日（月）に国連大学ビルにお成りになることが決定しました。この件に関する報道取材につきましては、別添【2.取材要領】、【3.取材位置】にご案内しておりますのでご参照ください。

世界人口デー記念特別展示「アフガニスタンのお母さん」

特別イベント 「アフガニスタン・レインボープロジェクト」

Rainbow Project for Afghanistan ～Speaking about Mums and Kids～

日時：2009年7月4日（土） 17:00-20:30

場所：国連大学ビル 前庭

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70

共催：国連人口基金東京事務所、ジョイセフ、東京 FM、インデペンデント・プレス

参加費：無料

イベント概要：

1) トークショー

石川みのる氏（東京 FM パーソナリティ）、後藤健二氏（ジャーナリスト）、スルタニ・トロペカイ氏（アフガニスタン女性の教育支援 NGO 代表）をお招きし、アフガニスタンの今と日本の関わりについてお話いただきます。

2) キャンドル・ワークショップ

「アフガニスタンの子どもたちに光を送ろう」をテーマに、廃油からろうそくを制作してもらう体験ワークショップ。作ったろうそくは、来場者に持参してもらったろうそくとともに、アフガニスタンに送られます。

3) キャンドル・ライブ

キャンドルでライトアップされたステージで行うアコースティック・ライブ。地球環境にも配慮し、ステージで使用する電気はすべてバイオディーゼル燃料を使用します。

4) エスニック屋台村

アフガニスタン料理をはじめとして、エスニック料理の屋台が並びます。食べ物を通した文化交流です。

【お問い合わせ】

国連人口基金（UNFPA）東京事務所 （担当：山本・上野）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 7 階

TEL：03-5467-4684 / FAX：03-5467-8556

E-mail：tokyo.office@unfpa.or.jp / www.unfpa.or.jp

